

平成30年7月12日  
西日本高速道路株式会社

報道関係各位

ひろしまくれどうろ  
**広島呉道路の被災状況及び復旧に関する検討について**  
～学識者からなる検討委員会を設置～

広島呉道路は、平成30年7月豪雨の影響により、7月6日から全区間(16km)が通行止めとなっています。  
土石流による道路崩壊1箇所(水尻<sup>みずじり</sup>)、土砂流入による車線閉塞6箇所(天応西IC<sup>てんのうにし</sup>付近)、IC出入口アクセス道路への土砂堆積1箇所(天応東IC<sup>てんのうひがし</sup>)が発生し、通行再開には相当の期間を要する見込みです。(別紙1)

早期の通行再開のため、西日本高速道路株式会社は、学識者による「広島呉道路災害復旧に関する検討委員会」を立ち上げ、特に重篤な被災箇所(水尻の道路崩壊)を対象に復旧に関する検討を行うこととしました。  
第一回の検討委員会(現地視察を含む)が下記の通り開催されます。

1. 日 時 平成30年7月13日(金) 14:00～16:00
2. 場 所 検討委員会:西日本高速道路メンテナンス中国(株) 会議室  
(広島県広島市東区若草町12-1)  
現地視察 :広島呉道路(現地視察)
3. 委 員 別紙2のとおり
4. 議 事 特に重篤な被災箇所の復旧に関する検討 等
5. その他
  - ・取材をご希望される方は別添の「取材申込書」にて必ず事前登録をお願いします。
  - ・会議は傍聴不可ですが、カメラ撮りは会議冒頭(委員長の挨拶まで)のみ可能です。
  - ・会議後の現地視察の同行取材は可能です。
  - ・当日は会議開始10分前までにお越しください。当日の現地視察は、会議場からバスで送迎いたします。
  - ・現地視察後にプリーフィングを行う予定です。

以 上

# E31 広島呉道路の被災状況



・土砂流入による車線閉塞



・土石流による道路崩壊  
崩落は、約25,000m<sup>3</sup>(幅80m×長さ400m)



・土砂流入による料金所閉塞



・アクセス道路への土砂堆積

— 通行止め区間  
X 被災箇所

広島呉道路災害復旧に関する検討委員会 委員名簿

土田 孝 広島大学大学院工学研究科教授

富樫 篤英 国土交通省中国地方整備局道路部長

中田 幸男 山口大学大学院創成科学研究科教授

宮武 裕昭 国立研究開発法人土木研究所  
地質・地盤研究グループ施工技術チーム  
上席研究員

○村田 秀一 山口大学名誉教授

(○委員長)

(50音順、敬称略)